

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 りんく松島教室

公表日 2026年3月30日

|         | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点   |
|---------|---|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。  | 6  |     | ・活動ごとにスペースを分けることで、集中しやすい環境づくりを行っている。<br>・備品の数や種類に偏りがあるため、子どもたちの興味や発達段階に応じた教材の充実が求められ  | ・経年劣化している備品もあるため、定期的な点検・交換を行う必要がある。   |
|         | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。   | 4  | 2   | ・活動内容や子どもの状態に応じて、柔軟に職員配置を調整する<br>・事前に役割分担を明確にし、緊急時にも対応しやすい体制を整える<br>・職員間での情報共有を徹底し、少人数でも効率よく支援できるようにする                                | 学習を手厚くサポートしたいが（特に未就学）、送迎や業務の都合上、手薄になっていると感じる。子どもたちの意欲はあるが、それをどんどん応援するまでの体制が取れていない事が悔しい。4月からは1日の流れも変わるとは思うので、様子を見ていきたい。  |
|         | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5  | 1   | ・子どもの特性や発達段階に応じた環境設定の見直し<br>・視覚支援（スケジュール・掲示物）の最適化<br>・安全面と動きやすさを両立した空間配置の工夫   | 特性に応じての環境や設備になってると感じるが、駐車場から玄関の段差はバリアフリー化はされていないと感じる。   |
|         | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                 | 5  | 1   | ・活動に応じた柔軟な空間の使い分け<br>・整理整頓のルールの徹底と職員間での共有<br>・清潔で快適な環境を維持するための定期的な見直し   | 清潔で心地よさそうに過ごしているが、フロアカーペットが劣化の原因が剥がれたり破れたりしてきている。   |
|         | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  | 6  |     | ・簡易的な仕切りやスペースの活用による個別空間の確保<br>・子どもの状態に応じた柔軟な対応と事前の環境設定<br>・職員間での連携を強化し、全体と個別のバランスを取る  | 遊びの区切りとしては使用できているが、リラックスできる場所（気持ちを落ち着かせられる場所）としては正直使用できていません。これはとても大切なスペースだと思うので、トイレ前の空間をパーテーションを上手く使いながら、活用していきたい。   |
| 業務改善    | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                       | 5  | 1   | 職員が目標を意識して行動し、日報等で自身の振り返りを入力しているので参画している事がよくわかる。<br>ミスを責めない風潮があるので、前向きに皆んなで背中を押し合っている。一方で、全体に周知した時に“自分ごと”としてちゃんと考えられているのかは、課題が残る時もある。 | 振り返り等は各職員行っていると思うので、100%いいえと思っているわけではありません。PDCAサイクルに着目した場合、まだ不足している部分があると思うのでいいえを選択しました。そもそもPDCAサイクルの意味や意図を全職員が理解できているかどうかが大さだと感じます。                          |
|         | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                  | 6  |     |   | 評価表の回収率や意見の偏りが見られることがあり、すべての保護者の意向を十分に把握できているとは言いきれない。また、いただいた意見が業務改善にどのようにつながったかが、保護者へ十分に伝えられていない点も課題である。  |
|         | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 6  |     |   | 松島教室内では、意見や考えを伝え合い、次どうしていくかの相談は出来ていると思います。ただ会社全体と考えると、改善には至っていないと感じます。<br>意見の出しやすさには個人差があり、十分に発言できていない職員もいる可能性がある。また、出された意見が継続的な改善につながっているか、振り返りが不十分な場面も見られる。 |
|         | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  | 2  | 4   |   | 評価結果を職員間で共有し、具体的な改善行動につなげる体制づくりをする。   |
|         | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                    | 5  | 1   | manebiなどを取り入れて、研修などを受講しやすいうように工夫されている。  | 研修や勉強会はありませんが、もっと人材教育に力を入れてほしいと思うところもあります。業務都合により全職員が均等に研修へ参加できているとは言えず、参加機会に偏りが見られる。また、研修で得た知識や技術が現場で十分に共有・活用されていない場合もある                                     |
|         | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 5  | 1   |   | 支援プログラムは作成しており、子どもたちが見直しを持って活動できるように工夫しています。今後は、保護者の方にもより分かりやすく伝えられるよう改善していきます。   |
|         | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。                   | 5  | 1   | 一人ひとりの様子を日々観察しながら、保護者の方の意向も踏まえて支援計画を作成することができるのではないか？今後は、より客観的な視点も取り入れていきたいと考えている。  |   |
|         | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。     | 3  | 3   |   | 支援に関わる職員で話し合いながら計画を検討しています。今後は、さらに意見を出しやすい雰囲気づくりを意識していきます。  |
|         | 14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 3  | 3   |   | 計画は共有されていて、それに沿って支援はできていると思います。ただ、細かい部分まで理解を深める必要はあると感じています。  |

|              |  |  |   |   |  |   |
|--------------|--|--|---|---|--|---|
| 適切な支援の提供     | 15   | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 5 | 1   |  | 日々の関わりの中での観察が中心になっています。今後は必要に応じてツールの活用も考えていきたいです。             |
|              | 16   | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | 1   |  | ガイドラインを踏まえて設定できていますが、もう少し具体的な支援内容に落とし込めると良いと思いました。            |
|              | 17   | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 6 |   |  | 活動は職員同士で相談しながら決めています。もう少し役割をはっきりさせるとやりやすくなると思います。             |
|              | 18   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 6 |   | 職員一人ひとり、得意なものや好きなものが違うのでそれを活かしながら、幅広い療育内容を提供することができている。                  | 固定化しないように意識はされています。新しい活動も取り入れていきたいなと思います。                     |
|              | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。  | 5 | 1   |  | 子どもの様子に合わせて使い分けはできていると思います。バランスはその都度見ていく必要があると感じました。          |
|              | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 4 | 2   |  | 支援前に流れや役割の確認はできています。短時間でも大事な部分はしっかり共有できていると思います。              |
|              | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。   | 4 | 2   | 日報等に児童の共有や学習共有シートを活用して振り返られるようにしている。                                     | 振り返りは行っていますが、話して終わることもあるので、次はどう活かすかまで意識したいです。                 |
|              | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 6 |   | 学習共有シートも活用しているが、気づいた際にはすぐに共有するように工夫している。                                 | 記録は取れていますが、もう少し具体的に書くことで改善につながると感じました。                        |
|              | 23   | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。  | 5 | 1   |  | 定期的に見直しは行われています。子どもの変化に合わせて、柔軟に対応していくことが大事だと感じました。            |
| 関係機関や保護者との連携 | 24   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。   | 6 |   | 子どもの様子を理解している職員が会議に参加できていると思います。今後は、会議内容を他職員にも分かりやすく共有していくことが大事だと感じています。 |   |
|              | 25   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。   | 5 | 1   |  | 必要な情報をタイミングよく共有することは、今後も意識していきたいです。                           |
|              | 26   | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                               | 6 |   |  | 他事業所や園・学校との情報共有は行っていますが、もう少し深い連携ができるといいと感じました。                |
|              | 27   | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。   | 6 |   | 就学に向けて学校との情報共有は行われています。引き続き、子どもがスムーズに移行できるように関わっていく必要があると感じています。         |   |
|              | 28   | (28～30は、センターのみ回答)<br>地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。  |   |   |  |   |
|              | 29   | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。   |   |   |  |   |
|              | 30   | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。  |   |   |  |   |
|              | 31   | (31は、事業所のみ回答)<br>地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。  | 2 | 4   |  | もう少し積極的に相談できる関係づくりも大事だと思いました。                                 |
|              | 32   | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。  | 2 | 4   |  | 地域の中で他の子どもと関わる機会がありますが、まだ限られている印象です。もう少し機会を増やしていけたらいいと感じています。 |
| 33           | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6  |   | 送迎時やお便り帳を通して、子どもの様子を伝え合うことはできています。保護者と同じ方向を向いて支援できるよう、今後も丁寧に関わっていきたいです。 |  |   |

|          |  |  |   |   |   |   |                              |
|----------|--|--|---|---|---|---|------------------------------|
|          | 34   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 4 | 2 |   | 必要に応じて情報提供は行っていますが、家族向けの支援機会はまだまだ少ないと感じています。今後は、研修や情報提供の機会を増やしていけたらいいと思います。               |                              |
| 保護者への説明等 | 35   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 6 |   |   | 概ね説明できているが、より分かりやすさの工夫が必要。  |                              |
|          | 36   | 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。             | 5 | 1 |   | 保護者の意向は確認できているが、本人の気持ちもより丁寧に把握したい。  |                              |
|          | 37   | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。   | 3 | 3 |   | 計画の説明と同意は取れている。伝え方の工夫が課題。   |                              |
|          | 38   | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。   | 6 |   |   | 相談対応はできているが、より相談しやすい関係づくりが必要。   |                              |
|          | 39   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 |   |   | 保護者同士の交流機会は少なく、今後の検討が必要。  |                              |
|          | 40   | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 6 |   |   | 相談・申入れには対応できている。引き続き迅速な対応を意識する。   |                              |
|          | 41   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 6 |   |   | 情報発信は行っているが、内容の充実が課題。   |                              |
|          | 42   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 6 |   |   | 個人情報の取扱いは適切に行っている。  |                              |
|          | 43   | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 6 |   |   | 状況に応じた伝達の工夫はできている。  |                              |
|          | 44   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 2 | 4 |   | 地域との関わりは少なく、今後の課題。  |                              |
| 非常時等の対応  | 45   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 2 | 4 |   | マニュアルは整備・周知されており、訓練も実施しているが、継続的な確認が必要。  |                              |
|          | 46   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 2 | 4 |   | BCPや避難訓練は実施できている。実践的な内容の強化が課題。<br>災害時の備え(救急バッグ、災害バッグ、嘔吐セット等)は準備されているが、訓練という点では機会が少ないと思います |                              |
|          | 47   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  | 5 | 1 |   | 事前の健康情報の確認はできている。共有の徹底が必要。  |                              |
|          | 48   | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 5 | 1 |   | アレルギー対応は適切に行われている。引き続き確認を徹底する   |                              |
|          | 49   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 3 | 3 |   | 安全計画に基づいた支援はできている。職員全体の理解を深めたい。   |                              |
|          | 50   | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 3 | 3 |   | 家族への周知はできているが、伝え方の工夫が必要   |                              |
|          | 51   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 5 | 1 |   | chatworkや日報などで再発防止などを職員に向けて発信している。  | ヒヤリハットは共有できているが、再発防止の具体化が課題。 |
|          | 52   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 2 | 4 |   | 虐待防止の研修は実施されている。継続した意識づけが必要。  |                              |
| 53       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 2  | 4 |   | 身体拘束を行うまでの児童はいないので話し合い等で出てこないが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかは話し合いが必要と感じる。 |   |                              |